

泉谷小中学校避難所運営委員会 避難所運営ボランティアのお願い

泉谷小中学校避難所運営委員会
委員長 吉原 文昭

泉谷小・中学校避難所運営委員会は、本学校を避難所として使用する住民が所属する、おゆみ野地区11自治会から選出された、委員長をはじめとする34名（市・学校職員等を除く）で組織され、避難所を開設するために必要な活動を行うための委員会です。

【主な活動】（災害時：市内震度6弱以上で参集、又は市長の指示で招集し避難所を開設）

- ・年6回の全体会議
- ・施設の使用訓練及び資機材の確認
- ・避難所開設訓練等の実施（九都県市防災訓練の一環として実施）
- ・避難所運営マニュアルの改訂（避難所のルールづくり）
- ・非常食や備品の管理

【避難所開設時の問題点】（避難所開設から3日で避難者住民自治に移行が基本）

災害が発生し避難所を開設する場合、委員自身も被災者となる可能性があり、又各担当者が参集できる保証もありません。そして、本来避難所は避難者自らが運営することが基本となっており、それを初期対応や事前のルールづくりなどで支えることが市・学校関係者及び委員の主な役目であり、開設後の運営の備えはというと脆弱な状況であると言えます。

一方、避難した住民が、避難所の運営に即応できる知識・技術があるかということ、まだ備わっていない現状があります。

【避難所運営ボランティア制度の提案】

そこで、過去に避難所運営委員会等に携わったことのある方や有識者に、災害が発生し、避難所が開設された場合には自主的に参集していただき、避難所運営スタッフの一員として、その知識技術を活かしていただきたいと考えました。当分の間、登録等は行わず、自主的な活動の周知から始めたいと思います。将来的には登録制度とし、「自分たちの町は自分たちで守る」をモットーに、避難所開設訓練に参加するなど、共助活動を水平展開していければと考えます。

大規模災害発生時には「避難所運営ボランティア」のご理解とご協力をお願いいたします！！